

見どころ案内

エキゾチックなお寺に入ってみよう

!! 築地本願寺

(築地3-15-1)

異国風の外観の建物は1934年に建てられた古代インド仏教様式。本堂にはいろいろな動物像やパイプオルガンなど見どころがいっぱいある(→p.136)。



赤い獅子と黒い獅子がいる

!! 波除稲荷神社

(築地6-20-37)

江戸時代に厄除けと商売はんじょうを願って建てられた。境内には赤と黒の大きな獅子が向かい合う。すし塚、海老塚など魚に関する石碑も。



赤い獅子はお歯黒、黒い獅子は金歯ね。

隅田川から東京観光

!! 水上バス

たくさんの橋の下を通り、水の都を実感できる隅田川の観光船。このエリアには浜離宮庭園、聖路加ガーデン前に発着場がある。



船の形はいろいろ。写真は漫画家の松本零士氏がデザインした「ヒミコ」。

見たことない形や色をした魚もいるね。



いつも買い物客でにぎわう

!! 築地場外市場

(築地4丁目地域)

築地市場の外にあり、約500店が並んでいる都民の台所だ。食品だけでなく生活雑貨も売っている。見て回るだけでも楽しいよ。



勝鬨橋の開閉のようすがわかるもけいがある。



東京で最初の教会

!! カトリック築地教会

(明石町5-26)

1874年に東京ではじめて生まれたカトリック教会だ。現在のギリシャ神殿風の聖堂は1927年に建てられた。



隅田川沿い、勝鬨橋のたもとにある。



聖路加国際病院の創始者も住んでいた

!! トイスラー記念館

(明石町10)

聖路加国際病院のキリスト教宣教師の洋館で、1933年に建てられた。その後職員宿舎、事務所として利用された。ヨーロッパ風の建築が特色だ。



迫力あるプラネタリウムも楽しめる

!! タイムドーム明石

(中央区立郷土天文館) (明石町12-1)

中央区の郷土資料展示では、江戸時代のお店の看板や生活用品などの実物が見られる。季節ごとにプログラムが変わるプラネタリウムも人気がある。

江戸前ずしは屋台からはじまった!

江戸湊(今の東京湾)でとれた新鮮な魚をつかったずしを「江戸前ずし」という。屋台で気軽に食べられるファストフードだったんだ。



江戸前ずし



(左) 日本初の回転ずし「廻る元禄寿司」は1958年、大阪に開店。写真は1960年の道頓堀店。(右) 現在の築地にあるずし屋さん。

歌川広重「東都名所高輪廿六夜待遊興之図」には、月見の人でにぎわう場所にずし屋の屋台がえがかれている。

江戸前ずしは握りずしともいう。19世紀はじめに生まれ、江戸の人々に親しまれ、全国に広まった。おなじみの回転ずしがはじめて登場したのは昭和30年代のことだ。今では海外でも「KAITEN SUSHI」とよばれて人気があるよ。

イギリスの回転ずし屋「YO! Sushi」のメニューには手巻きずしがある。

